

片岡コレクション研究会

趣意書

運営委員：伊藤智央（発起人）、ティル・ヴァインゲルトナー、上田学、片岡一郎（発起人）、京谷啓徳、小松弘、ヤン・シュミット、鈴木三智子、ラインハルト・ツェルナー（発起人）、ケアスティン・フォーケン、毛利真人（発起人）、湯川史郎（発起人）

目的

- 片岡コレクションへの理解を深め、その研究利用の可能性を探り、その活用を促進する。
- 戦前の日本関連レコード、特に語り物レコード（映画説明・活弁レコード）について多角的な発表や議論をする場を提供する。
- 毛利氏提唱「レコード学」立ち上げの基盤整備のための場を提供する。
- レコード史料の研究利用のための理論的方法論的基盤を整備し、研究資源・ツールとしてのディスコグラフィなどの補助資料の必要性に関する認知を高める。
- 上記目的を追求するため、学際的（日本史、メディア史、映画史、音楽史、芸能史、政治史、軍事史、言語学、経済・産業・企業史、アーカイブズ学、デジタル・ヒューマニティーズなど）な幅広い交流を促進し、人的ネットワークを構築する。

組織

- 研究会運営委員会を設置する。活動・運営方針や企画などについて議論、決定する。
- 研究会運営委員は無報酬とする。
- 「研究会会員」とは研究会活動告知用のメーリングリスト登録者と同義とする。会員になるための資格などを定めた「会則」は定めず、関心を持ち、議論に参加したい者ならば誰でも「入会」できることとする*。
- 研究会事務局はボン大学日本・韓国研究専攻に設置し、運営上の事務・連絡などを担うこととする。

活動方針

会員の相互交流を主な目的とする定期活動と不定期活動からなる。

定期活動

*ただし、運営委員の判断で退会を命ずることができる。

- 講演会を定期的に開催する。原則として、二カ月に一度、奇数月第三土曜日を予定。

日程

2021年：7月17日、9月18日、11月20日

2022年：1月29日、3月19日、5月21日、7月16日、9月17日、11月19日

構成

講演会は、発表・質疑応答（60分程度、複数の場合は合わせて90分程度）と議論（60分程度）。

形式

オンライン会議システムを用いる。

講演者への報酬

講演は無報酬とする。

聴衆／参加資格

参加は無料で、原則自由。ただし、毎回事前登録制とし、講演会・研究会のリンク再配布は原則禁止とする。

告知

告知はメーリングリストやホームページを通じて行う。告知素材の転送や告知ホームページへのリンクの再配布は許可する。

- 年に一度、報告書（予稿集＋活動経過）を発行する。

不定期活動

- 運営委員の提案により不定期の研究会（読書会、資料紹介や講読、片岡コレクションなどの音源を聴く会など）を開催する。研究会の告知方法と範囲に関しては運営委員会で決める。